

保護者・地域のボランティアによる安全活動事例

前回に引き続き、子どもの安全を守るための地域ぐるみの取組を紹介します。活動事例を参考にいただき、地域ぐるみの安全の取組を推進してください。

※ 学校・園や地域での取組事例を当事務局（体育健康教育室学校安全担当）までお知らせください。

● 待鳳小学校

平成16年秋頃から、PTAで防犯ボランティアを募集し、新たに「防犯委員会」を発足。約60人の参加のもと、交通安全の旗を持ち、待鳳PTAの腕章を着用し、曜日を決めて児童の下校時の見守り活動を実施している。

● 西陣中央小学校

西陣中央小教育会が西陣中央小のスクールカラーである青色のバンダナを250枚つくり、PTA・地域で子どもたちを見守っていただける方に配布し、平成17年4月から、出かけるときに身に付け、子どもたちを見守っていく取組を推進する。

● 朱雀第七小学校

奈良市の児童誘拐殺害事件を受け、下校時の子どもを守る体制をつくろうと、保護者や地域住民らが通学路に立ったり、自宅近くまで送ったりする「子ども見守り隊」の活動を開始。見守り隊は約40人で構成され、校門などに立ち、児童に「さようなら」等の声かけを行っている。

● 上鳥羽小学校

PTAは、今年度、児童に防犯ブザーを持たせる等、「子どもを被害から守るために親としてできることをしたい。」と意欲的に取組を推進。また、奈良市の児童誘拐殺害事件を受け、保護者へのアンケートや聞き取り調査をもとに、児童の通学路付近にある交通事故現場や不審者目撃場所、子ども110番の家など約200ヶ所を掲載した「安全マップ」を作成。小学生のいる全約300世帯に配布した。

● 山階南小学校

奈良市の児童誘拐殺害事件を受け、学校・PTA・地域団体が協力し、校区内各地で、ビラ「夕刻にねらわれています」や、児童が作成したバッジ「子どもの安心安全マモルンジャー」を配布し、子どもの連れ去り防止を呼びかけた。

● 伏見板橋小学校

校区内の子ども110番の家を知ってもらうため、1、2年生の親子を対象に、自分の住んでいる方面の子ども110番の家を訪ね、交流を図る「こども110番の家オリエンテーリング」を実施。また、子ども110番の家を掲載したマップ「板橋子どもわんわんおう（110）」を作成し、家庭に配布し、防犯に対する意識を高めた。

● 鳳徳小学校

平成13年6月の池田小事件を受け、学校・PTA・地域団体等との協議のうえ、「鳳徳ふれあいネットワーク」を結成し、声かけ運動等を実施している。さらに平成16年度後半からは、腕章を400枚つくり、学校・PTA・地域団体に配布し、出かけるときに身に付け、下校時を中心に子どもたちを見守る取組を推進している。

